

令和6年度 三島市の 予算

問財政課 ☎ 983・2622

令和6年度予算案が市議会2月定例会で可決されました。一般会計予算は450億7,000万円で、前年度対比6.1%（25.9億円）増となりました。

日本一幸せに暮らせる都市を目指す

積極型予算

令和6年度
三島市
施政方針



市議会2月定例会（2月14日）で、豊岡市長が述べた
令和6年度施政方針について概要を掲載します。



三島市長 豊岡 武士

令和6年は、元日に津波を伴う最大震度7を記録した能登半島地震という痛ましい災害での年明けとなりました。

改めて、犠牲になられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

三島市といたしましては、今後も被災地の皆様に寄り添い、復興に向けた支援を継続してまいります。

三島市では、安全・安心の確保のため、災害などの被害を最小限にするためのハード面での整備を進めずとともに、「備えあれば憂いなし」の状態に向かって、自助・共助の力を発揮するためのコミュニティづくり、人づくりに引き続き注力してまいります。

私が市長という重責を担わせていただきましてから、13年余の月日が経過いたしました。

「継続は力なり」と言いますが、主

要施策として一貫して取り組んできました「ガーデンシティ」につきましては、市民の皆様に深く浸透しておりますことから、市民意識調査

の項目の中で満足度1位をキープしており、令和5年度は約80%と非常に高い評価をいただいております。

「スマートウエルネス」につきましては、市民参加のもと多くの事業に取り組んでまいりましたが、全国的にも評価され、1月末時点で127の自治体が加盟しております。「スマートウエルネスシティ首長研究会」において、令和4年度には、加盟首長が集うSWC研究会を本市で開催いたしましたほか、令和5年度からは会長を務めさせていただきなど、広く「健康都市みしま」を発信しております。

「コミュニティ」につきましても、人と人との繋がりがや、地域への愛着、シビックプライド※を持つていただけるよう努めた結果といたしました

て、市民意識調査において「市への愛着率」が約90%となるなど、近隣市と比べても極めて高い数字となっております。

このようにして育ててまいりました土壌を基に、駅前再開発や企業誘致による将来の発展に向けた投資、市民体育館などの公共施設の整備による快適な生活の確保、子育て支援や教育施設の充実による将来の三島市を支える子どもたちの健やかな育成、防災・減災対策による災害への備えなど、従前の市民サービスを後退させることなく推進することで、誰もが幸せを実感し良好な状態である「ウエルビーイング」の実現という目標を達成し「三島で生まれてよかった、育つてよかった、暮らしてよかった」と思っていただけのように編成いたしましたこの予算を、私は「日本一幸せに暮らせる都市を目指す積極型予算」と考えております。

※シビックプライド：地域や自治体に対する住民の誇りや愛着、地域社会に貢献する意識を指す言葉

第5次総合計画 基本目標

1 「安全・安心に暮らせるまち」

①消防団運営事業…3,449万円

消防資機材の整備、被服の貸与、消防団アプリの活用などにより、消防団活動の安全性・機動性の確保と効率化・活性化を図ります。



②消防施設整備事業…7,697万円

老朽化が進んでいる第18分団（松本地区）詰所の建設用地購入、建物の実施設計業務などを行います。

③無線通信広報事業…4億9,705万円

災害発生時の重要な情報伝達手段でもある同報無線について、老朽化が進んでいることから、デジタル化による再整備を実施します。

④耐震改修事業…1,039万円

建築物やブロック塀の耐震診断の実施を促進し、木造住宅の耐震補強工事や、緊急輸送路および避難路沿道のブロック塀の撤去や建替えを促進することで、安全の確保に努めます。

⑤都市下水路整備事業…6,000万円

竹ノ下ポンプ場第3号ポンプの改築工事により大場川への雨水の強制排除能力を確保します。



⑥一般廃棄物処理計画事業…966万円

いつ起こるか分からない災害への備えとして、災害廃棄物仮置場設置運営訓練を行うほか、「循環型社会形成推進地域計画」の第2次計画を策定します。

第5次総合計画 基本目標

2 「健康で福祉が充実したまち」

①スマートウエルネスみしま推進事業…1,111万円

健幸づくりアプリ KENPOS(ケンポス)を活用し、若い世代や健康無関心層の運動参加を促すなど、健やかで幸せに暮らせるまちの実現を目指します。

②母子保健事業…7,900万円

妊婦健康診査の回数を14回から16回に増加するほか、包括的な相談支援拠点である「こども家庭センター」との連携を図り、妊産婦が安心して子育てできる環境を整えます。

③出産・子育て応援事業…5,626万円

妊娠時の面談や出産後の全戸訪問を実施するほか、妊娠届出時の面談後に妊婦1人につき5万円、出産後の家庭訪問後に対象児童1人につき5万円を支給します。



④こども家庭センター事業…2,934万円

全ての妊産婦やこども・子育て家庭への一体的な相談支援を行うことにより、安心して子育てができる環境を整え、育児不安や虐待の予防に繋げていきます。



⑤感染症予防事業…3億799万円

従前から実施している各種予防接種への助成を継

続して実施することに加え、新たに50歳以上の人を対象として帯状疱疹予防接種に対する助成を開始します。

⑥運動スポーツ習慣化促進事業…984万円

運動好きな子どもの育成と成人の運動習慣化を図る「みしまあそVIVA!プロジェクト」やアーバンスポーツ体験会を実施し、スポーツを通じた健康づくりを促進します。



⑦体育施設整備事業…7億8,062万円

市民体育館の大規模改修工事として、熱中症対策とバリアフリー化に向けた空調やエレベーターの設置、アリーナ床の張り替えなどを実施します。

⑧高齢者バス等利用助成事業…3,256万円

高齢者の外出を支援するため、70歳以上の人を対象にバスおよび伊豆箱根鉄道駿豆線で利用できる助成券を交付します。また、75歳以上の方はタクシーでの利用も可能です。



⑨地域生活支援事業…1億62万円

障がい者の自立した日常生活を支援するため、移動支援、日中一時支援、日常生活用具の給付などを実施します。